



書名	著者名	請求記号
SDGs思考:2030年のその先へ17の目標を超えて目指す世界	田瀬和夫、SDGパートナーズ著	EB335.1/4
両手にトカレフ	ブレイディみかこ著	913.6/Br
サステナブル・フード革命:食の未来を変えるイノベーション	アマンダ・リトル著、加藤万里子訳	611.3/Li
小児科医、海を渡る:僕が世界の最貧国で見たこと	黒岩宙司著	498/Ku
彼女たちの部屋	レティシア・コロンバニ著、齋藤可津子訳	953/Co
母親になって後悔してる	オルナ・ドーナト著、鹿田昌美訳	367/Do
何度でも行きたい世界のトイレ:a spotter's guide	ロンリー・プラネット編、中島由華訳	528/Lo
みんなで考える脱炭素社会:ビジュアル解説:The Roads to Carbon Neutrality	松尾博文著	451/Ma
三十の反撃 = The counterattack of thirty	ソン・ウォンピョン著、矢島暁子訳	929/So
モビリティ リ・デザイン 2040:「移動」が変える職住遊学の未来	KPMGモビリティ研究所編	680/Kp
すべての企業人のためのビジネスと人権入門	羽生田慶介著	335/Ha
島はぼくらと	辻村深月著	913.6/Ts
ミナペルホネン?:通常版	ミナペルホネン著	589/Mi
リジェネレーション「再生」:気候危機を今の世代で終わらせる	ポール・ホーケン編著、五頭美知訳	451/Ha
じゅんびはいいかい?:名もなきこざるとエシカルな冒険	末吉里花文、中川学絵	365/Su
ナマケモノのいる森で	アヌック・ボワロベール、ルイ・リゴーしかけ、ソフィー・ストラディぶん、松田素子やく	726/Bo
戦争日記:鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々	オリガ・グレベンニク著、渡辺麻土香、チョン・ソウン訳	986/Gr
We have a dream:201カ国202人の夢×SDGs	World Dream Project編	333/Wo



—2030年のその先へ17の目標を超えて目指す世界—

地球の課題が経営を強くする

「SDGsはいわば2030年に向けた人類の未来予想図です。」

企業がSDGsを実践することは、企業の本分であり、

「利益を挙げながら社会に対して善をなすこと」に完全に合致する。

経営にSDGsを組み込む際のポイントを以下の3つの側面から

提示しています。

1. SDGsに通底する世界観の理解

2. ビジネス実装に役立つ思考法

3. 主要テーマの潮流をつかむ

具体的な事例や図説が折り込まれているのでわかりやすいです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



両手にトカレフ

・ミアはイギリスの14才の女の子。

薬物中毒の母と小学生の弟チャーリーの世話をしながら中学校に通っていて、食べ物を買うお金もないほど貧しい暮らしをしている。



・鎌子文子は実在した1903年生まれの日本人。

つきあう男に振りまわされる母と赤ん坊の弟と暮らしていた。文子は無戸籍で学校にも通ってなかたが、14才の時、親せきにもらわれて朝鮮へ渡った。学校に通うようになたが、家では女中のように扱われ、食べ物を与えられないと等のいじめを受けていた。



物語は、ミアがカネコフミコの自伝本を読みながら進んでいく。

食べることに困るほどの貧困。少女たちは、どうしたらいいの？

サステナブル・フード革命

金の本物を変える
イノベーション
アマンダ・リトル

世界的な食料不足は、コロナや
気候危機、ロシアとウクライナの紛争に
よってますます進んでしまっています。今
まであまり実感のなかつた日本人にも、身近に感じられるほどに...。世界の人口を
差なう十分な食べ物は、どうやったら手に入れられるのでしょうか。この本は、そんな
食のイノベーション=革新を、にのう人たちへの取材レポートがたくさんついた本
と考えます。気候変動、遺伝子組み換え食品、AIロボットの利用、スマート農業
に、垂直農場、サケの養殖産業、培養肉、食品廃棄物問題、下水道から
作る飲料水、3Dプリンターで作成する未来食などなど。そこには、最先端
テクノロジーと、環境エコロジー。この二者統一ではなく、「第3の方法」
を目指すためのとりくみが多々あります。



2 飢餓を ゼロに



3 すべての人に 健康と福祉を



小児科医、海を渡る 僕が世界の最貧国で見たこと

毎年500万人を超える子どもが5歳の誕生日を迎える前に命を落としています」と言わ
れても、あまりピンとこないのは、医療や制度が確立している今の日本を生きているから
なのでしょう。しかし、マラウイやラオスでは違います。マラウイを見れば、蔓延するHIVや
マラリア。我が子がもうそくなっていることに気付かず、ただ良くなることを考えて手を尽
くし、診察の順番を待つ母親。数え間違いではないかと疑うほどの1日当たりの死
亡者数。保育器の中ではこぼれたミルクにありが列をなし、病棟には悲しみに暮れ
る家族の声が響き渡る。ラオスを見れば、ポリオのワクチン接種が滞り、手足の麻痺
に苦しむ子ども達。外には不発弾が残され、毎日のように被害が出る。誰一人置き去
りにしないと掲げたSDGsですが、これだけの惨状を改善していくのは、簡単なこと
ではありません。しかし、かつて日本も「7歳までは神の子」と言われるほど子どもの死
亡率が高かった時代がありました。世界の現状を知ること、そこから見えてくる問題
を少しずつでも改善していくにはいかはきっと...そう信じています。

彼女たちの部屋 レティシア・コロンバニ 私は、「できること」とは、なんだろう。

この本が「教育」と首をかしげる方もいると思う。この物語の主題は「女性と貧困」にある。しかしこの目標の詳細には「男女の区別がなく」という前置きが並び、教育と世界中に行き届かせろには女性と貧困の問題は切り離せない。ターゲットの1つには「読み書き能力を身に付けられるようになる」があるが、現代のパリでソレースが出会う女性たちはその能力を持つといいらしい。

ソレースは教育の元、弁護士として十分なく活躍していた女性だが、想定外に40歳で鬱となり人生に躓く。「代書人求む」、元々弁護士は親の望みであり物書きを夢みていた日もあったソレースには代書人の書き込みに付けて、自分のための治療として女性会館でのボランティアを始めた。この世の問題解決に最初から乗り出していくわけではない。私たちのほとんども、それまでのソレースの上に日々の忙しさに手いっぱいで、身近にある問題も見えないことにするのが得意だと思う。でもきっかけが自分のためでも、気づきによって変わっていくソレースの姿に、読んでいる本にも出来ることがあるという気持ちになっているのだ。ますます気づく、そこからきっと変わっていく。

そしてソレースに平行して寄り添う未来のために尽力して100年前のフランスの人生(史実)から、このSDGsの目標を掲げてより良い未来を目指すことを応援してくれている。

コロンバニの「第三作目「あなた」の教室」はもとこのテーマに踏み込んでいる。1作目「三編み」から続く。戸籍はないが、組織がある、うれしい講んでほしい。

4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



母親になって後悔して

著：オレナ・ドーナト

衝撃的なタイトルではあるが、「平均3人」と出生率が高いイスラエルで「母になったことを後悔する女性」に社会学者である著者が心情をインタビューして書いた学術論文を基に出版されたノンフィクション作品です。

とりわけイスラエルでは多産が推奨されており、不妊治療技術を他の国より多様している(本書より)。

その中で同調圧力を感じながら生きる女性の本音を知ることができます。

何度も行きたい 世界のトイレ

ロンリー・プラネット 編・中島田華 訳

“何度も行きたい”を謳っていながら、「いやいや、絶対入りたくない」と思ふトイレもたくさん掲載されています。だけどそんなトイレでも無いよりはマシ。屋外排泄の危険性と精神的苦痛を考えたら、“入らない”なんて選択肢はありえない!!

しかし世界にはありえない選択をする人々より、汚染水を飲料水にする人々ない場所で生活している人々約36億人もいて下痢で命を落とす子どもも、月経を我慢すると学校に行けなくなる女の子も後を絶ちません。

P.3の世界地図を見てください。

気がつくことはありますか?

それは紹介したい場所じゃないのではなく、そもそも無いのです。

裏表紙の街(笑)韓国
オナジエは、韓国・水原市の
トイレテーマパークにあります。

博物館の
建物の
世界
トイレ博物館の設立者
P.100見なが
シム・ジェドウ氏の自作

6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



ビジネス解説

みんなで考える
脱炭素社会
The Road to
Carbon Neutrality

世界のエネルギー消費は今、8割超を石油燃料(石油や石炭、天然ガスなど)が占めているそうです。一方で、国連によると、世界にはまだ電気のない生活を送っている人々が約8億人いるそうです。

世界で起きている気候変動の影響は深刻で、温暖化ガスの排出量「実質ゼロ」をめざす脱炭素

社会への移行は人類の未来を大きく左右するといっても過言ではありません。しかし「これまでの生活や経済のくみを大胆に変える」といっても、各国の事情は様々であり、決して簡単ではないことも、本書を読むとよくわかります。

SDGsのゴールは相互に関わり合い、「すべての人々が豊かに安全に暮らせる」とへとつながっています。その中でも「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「気候変動に具体的な対策を」は、脱炭素を考える上で特に重要です。

詳しくは本書24、25ページをお読みください。(どのページもカラフルで見やすくみんなでできることは何かを考え、行動をしたいですね。) カラリやすくまとめられてます

2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。(SDGs目標8 ターゲット8より)

2022年の本屋大賞(翻訳小説部門)受賞の **三十の反撃** 全国の書店員がいろいろと薦める本。帯には「止まらない英感の声」が並ぶが、この小説の面白さだけではよく訴えも聞こえる気がする。いま、書店員のほとんどが非正規雇用だという。この小説の主人公は88年生まれの非正規雇用者、シム。物語のベースには韓国の社会問題があるが、低収入のため結婚や子どもや夢(職)をあきらめる若者が多くいることは日本も変わらない。この本をここに並べた私(司書)、非正規雇用であるし、公務員から教師、あらゆるところに繋がりかね世の中になってしまっている。国や企業にはこのSDGsターゲットは見えている? どうか。誰が何をすればその理想に到達するの? どうか。そして「非」の側面にいる私たちは何を。

この作品を書くとき、私の置かれた境遇は、不公平感、疎外感、焦りを感じているオム・シヘとさほど変わらなかったんだ」と語る著者が坦白をする。「私は自分自身とあなたたちに聞きたかった。どんな大人になりたいのかと。今という時間でどのように記憶し、刻んでいくつもりなのかと。反撃がうまくいかないとしても、1冊の中にこうした一つくらいは持て生きるべきではないのかと。そんな問いや思いが集まって、この作品が生まれたのだと思う」

閉塞感の中でそれでも一步踏み出すための心の風を吹き入れてくれるような一冊。

8 働きがいも 経済成長も



9 産業と技術革新の 基盤をつくろう



モビリティ 「移動」が変える職住遊学の未来

KPMG モビリティ研究所編

リ・デザイン2040

モビリティ=「ヒト・モノ・カネ・サービスの

「移動」という観点から見た未来生活の予測本です。

車両データから分析し、物流の効率化→カーボンニュートラルの実現へのヒント

歩行者優先の都市リ・デザイン→ロードデザイン中のスマートストリート実践

インフラを取捨選択する時代が来ている

などなど、興味深い内容が多くあります。

コロナ禍において、IoT、AI、グーグル空間の利用など今まで身近となり、

これから価値観はさらに変化していくことでしょう。一つの参考となる予想

図です。

**すべての企業人のための
ビジネスと人権入門**

羽生田 康介

Sustainable Development Goals の前文には、「誰一人取り残さない」 「すべての人々の人権を実現する」とあります。SDGsが環境の問題だけではなく、人権の尊重を目指していることがわかります。企業における人権のリスクとは何か?

1970年代、セガラ、マタハラだけではありません。取引先との、その企業活動における人権尊重も考慮していくはたらき。途上国における不平等な取引、マイナリティ差別、労働者の安全問題、プライバシーの尊重。また、綿・レアメタル・カカオなどにおける児童労働も強制労働といった現代奴隸問題。プラスメント以外にも、問題はたくさんあります。また、人権リスクには、環境問題と違い、オフセット・避けうれど、負の影響を別の活動で埋め合われる考え方の概念はありません。

よりより人権意識の低い日本ですから、まずは「アップデート」を行っていきましょう。具体例とともに、まずは知ることから。

10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



島はばくらと 辻村深月著

瀬戸内海 离島（架空の島）が舞台。

島には、学校が中学校までしかないため、高校へはフェリーで本土へ向かっている高校生4人が話の中心となる。

「コミュニティーデザイナー」として島を訪れ、島民と島外から来た人をつなぐ役割をしたヨシ/他 イターンで島外から来たシングルマザー、村長、島民…。

大きなテーマは、島の過疎化、過疎地域の医療、災害等であるが、島の人、島と訪れる人のつながりを丁寧に描いています。故郷を離れる事、住み続けることについて、考えさせられる一冊です。

図書館の古い一冊をご紹介します、『ミナペルホネン?』2011年発行。

1995年に始まったファッションブランド「ミナペルホネン」の15年を振り返る一冊です。

SDGsから世界の共通目標になつたのが2015年、2030年の達成を目指し「持続可能な」という言葉が世の中に浸透しましたが、ミナペルホネンは「せめて100年続くブランドを」と創業者の皆川明氏が自分が亡くなる2095年を見据えながら出発していく、その先見には学ぶことが多いあります。

この本の時代背景はといふと、ファッションは今より個性があり画一的ではありませんが、ミナは一つの憧れのブランドとして人気を確立していました。しかし同時に海外から「ファストファッション」が次々と上陸したりと共に、ユニクロが2010年売上高1兆円を目標として勢いを加速させていく時代でもあります。そして現在、日本を皮切りにファストファッションは世界的にも需要が広がり多くのことが問題視されています。大量消費、大量廃棄による環境への負荷や生産時の

途上国での労働・人権問題。それが警鐘されても、もはや「ユニクロは高級品」となくさらさら超低価格のECサイトが進出し流行っています。止められないのでしょうか。

毎日使う服だからこそ、その一枚一枚にある責任についてこの本とともに考えてみませんか？

ミナペルホネンは2020年に25周年を迎えた皆川氏は次へと代表を継承し変わらず100年後を見ています。

12

つくる責任
つかう責任

13

気候変動に
具体的な対策を

リジェネレーション【再生】気候危機を今世代で終わらせる

「気候変動」は地球温暖化により、暖まった大気に含まれる水蒸気の量が増えることなどが原因で、降雨パターンの変化、干ばつ、氷河の融解、洪水、等が起きることを指す。 -本文より-

本書では、気候危機を防ぐために個人や団体ができる重要な行動と、2030年にCO₂排出量を50%削減するための78の解決策を紹介しています。P.407に、学者や専門家チームが解決策を実行した場合の結果を表にしたものがあり、その項目の一部に、「あらゆるものを見つける」「何も無駄にしない」「クリーンな調理コンロ」とあります。一人一人の行動と心がけだけでも、地球を救うことができる！と言っても過言ではないかも知れませんね。

地球上、様々な美しい場面を切り取った写真もたくさん掲載されている、とても見応えのある一冊です。

じゅんびはいいかい?

クロマグロ、ニホンウナギ。どちらも日本の食卓に欠かせない魚です。しかし、どちらも絶滅危惧種に指定されているのを、ご存じでしょうか?

マグロの刺身にひつまぶし。もしかしたら、将来食べられなくなっちゃうかも? なんてこんなことになってるのか…。

知らないければ、ぼくが見せてあげる!

じゅんびはいいかい?

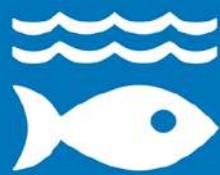
エジカル マジカル ~ 見えない世界につれてって~



石原はきこさるが見せてくれるのは、悲しい現実と今からでも出来ること。
見えない世界のことだけど、ほんとうのはなし

きみたちとぼくが生きる地球のはなし

14 海の豊かさを守ろう



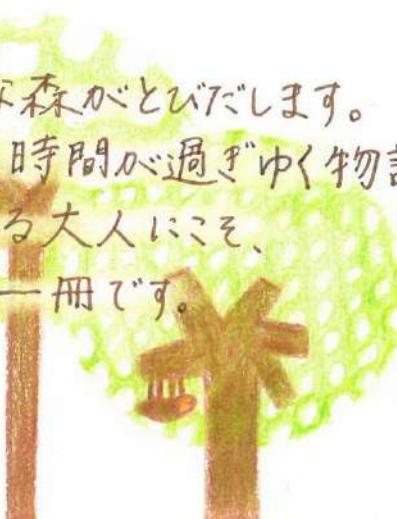
15 陸の豊かさも守ろう



ナマケモノのいる森で

小さな美しい絵本ですが、開くと大きな森がとび出します。
そしてたった見開き7頁ですが、悠久の時間が過ぎゆく物語です。
そのながい時間に想いを馳せられる大人にこそ、
じっくりと金鑑賞してみてほしいと思う一冊です。

2000年から2010年のあいだに、
1300万ヘクタールもの森林が失われました。
この破壊は、ナマケモノを含む、
数多くの動物の生存をおびやかしています。



この本は環境に配慮し、
持続可能な森林から生産された紙に、
大豆を原料としたインクで印刷されています

STAND WITH
UKRAINE

(本書より)

戦争日記

NO WAR

鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々

著: オリガ・グレーニク

「子どもたちの腕に名前と生年月日、そしてわたしの電話番号を書いた。

「万が一、死んでしまっても身元が分かるように。」

「地下室に閉じこもり、わたしたちの街が破壊されていく様子を携帯電話で見ている」

今現在、私たちがいる同じ地球の上で起こっている出来事です。

この本は「日記を写真データで送る」ことによって出版されました。

「ブログを通じて知り合った（実際には会ったことはなかった）人たちの家で過ごした。」

と書かれている様に、戦争という「非日常」の中に、携帯電話やブログ、SNSなど

普段私たちが触れている「日常」が見え隠れしていて、現代で戦争が起こると、

人々の暮らしはどう変わるのか、知ることができます。

「男性たちは国外に出ることはできない」

戦争があきて国外へ逃げようとしている時に、あなたは家族と離れることがありますか？？

16

平和と公正を
すべての人に

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

WE HAVE A DREAM 20の国20人の夢×SDGs

『地球環境を改善する』、『差別をなくす』、『世界平和を目指す』…ととても大きな目標で簡単に達成できるものではありません。しかし、世界中の人が夢見て、そこに向かって行動を起こせば、夢物語で終りません。同じ目標や夢へとたくさんの人人が小さくも確かな歩みを進めることに意味があります。

世界中には色々な人がいて、それぞれに夢を持っています。たくさんの経験や日常の中で出会うつらい現実や悲しい境遇。それらに嘆くだけでは終わらず、向き合い、変えるために動き続ける。広い世界のほんの一部ですが、頑張る人達の大きな夢を覗いてみましょう。自分のやりたいこと、なりたい職業、行きたい場所…それが人や地球のためになるとしたらとても素敵ですね。あなたの夢はなんですか？



MEMO





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2023年 2~3月
SDGsを本で学ぼう！ ~みんなで考える私たちの目標~

